

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																																						
ミス・パリ・ビューティ専門学校大宮校		平成24年3月30日	浅賀 寿美		〒 330-0803 (住所) 埼玉県さいたま市大宮区高鼻町1丁目46番地 (電話) 048-640-6411																																						
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																																						
学校法人ミスパリ学園		平成20年3月26日	下村 朱美		〒 461-000 (住所) 愛知県名古屋市中区東桜1丁目8番地3号 (電話) 052-957-6341																																						
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																																					
衛生	専門課程(衛生)	美容学科			平成27年文部科学省認定	-																																					
学科の目的	企業で実践されている技術、理論及び社員研修の一部をカリキュラム化し、学校に導入することにより、企業の求める人材育成が可能となり、より職業に直結した実践教育を行う事を目的とする																																										
認定年月日	平成28年2月19日																																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																																				
2年	昼間	2010	600	0	1410	0	0																																				
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																																					
158人		139人	0人	11人	21人	32人																																					
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価の基準: A,B,C,D,Eを以って示し、A,B,C,Dを合格、Eを不合格とする 評価の方法: 各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況を総合的に勘案して行う																																						
長期休み	■学年始: 4月1日～4月5日 ■夏季: 7月23日～8月22日 ■冬季: 12月24日～1月5日 ■学年末: 3月11日～3月31日			卒業・進級条件	卒業要件: 修業年限在学し所定の授業時間数を修了した者が、学校の定める全授業科目について修了認定を受けることによって卒業することができる 進級要件: 学校の定める各科目の出席必要時間(履修時間)を満たしているものが、所定の期間内に全授業科目について修了認定を受けることによって進級することができる																																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 資格試験前の模擬試験及び対策講座の実施、担任教員による面談等			課外活動	■課外活動の種類 (例) 学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 運動会・学園祭・学内コンテストの実行委員会等 ■サークル活動: 無																																						
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和3年度卒業生) 美容室(株)ケンジグループ、(株)GARDEN、(株)UNIX、(株)THEATER、(株)大黒屋/PEEK-A-BOO等 アイリッシュサロン(株)True、(株)MAQUIA等 ■就職指導内容 キャリア教育、合同奇病説明会、サロン見学、卒業生講話、個人面談、マナー講座、履歴書添削、面接練習等 ■卒業生数 57人 ■就職希望者数 57人 ■就職者数 57人 ■就職率 100% ■卒業者に占める就職者の割合 : 100% ■その他 ・進学者数: 0人 (令和3年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美容師国家資格</td> <td>①</td> <td>57人</td> <td>56人</td> </tr> <tr> <td>ジェルネイル検定初級</td> <td>③</td> <td>12人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>パーソナルカラーモジュールⅢ</td> <td>③</td> <td>7人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等 VAN COUNCIL JAPAN2022フォトコン学生部門入賞			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	美容師国家資格	①	57人	56人	ジェルネイル検定初級	③	12人	8人	パーソナルカラーモジュールⅢ	③	7人	7人																				
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																																								
美容師国家資格	①	57人	56人																																								
ジェルネイル検定初級	③	12人	8人																																								
パーソナルカラーモジュールⅢ	③	7人	7人																																								
中途退学の現状	■中途退学者 8名 ■中退率 6% 令和3年4月1日時点において、在学者135名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者127名(令和4年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 学業成績不振、学生生活への不適合、進路変更、持病悪化等 ■中退防止・中退者支援のための取組 年3回以上の担任教員との個別面談を実施、修学上の不安事項について相談を受け付けている。学業成績不振者には、補習授業を実施。進路変更希望者には、本人の希望・適正について聞き取りと面談を行い、保護者様同伴で希望する進路に向けての進学先紹介等を行っている																																										
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 ○特待生制度: 本校の入学選考又は進級試験に合格し、学業・人物共に優秀な学生に対し、学費の一部を免除する制度(第1種: 50万円、第2種: 30万円、第3種: 20万円、第4種: 10万円、第5種: 5万円免除) ○皆勤減免制度: 高校生活で皆勤の学生に対して学費の一部を免除する制度(10万円免除) ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 給付0名																																										

第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価： 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体： ○○○○ 受審年月： ○年○月 評価結果を掲載した ホームページURL ○○○○
当該学科の ホームページ URL	https://www.miss-paris.ac.jp/omiya/

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ①企業で行っている教育内容の一部を学校プログラムに導入し、技術レベルの高い教育を行うことにより、即戦力人材を育成する
- ②就職のミスマッチを未然に防ぐ為に、より実践的な教育内容とする
- ③定期的に教育プログラムの見直しを行い、学校、企業のニーズを相互確認する

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
 教育課程編成委員会にて、新しい知識や技術、接客マナーなど社会人として必要とされていることについて意見交換を実施し、学校関係者評価委員会の評価結果と併せて、学校主導でカリキュラムの工夫や改善を検討する。教育課程編成委員会で検討したカリキュラムに基づき、学校主導でカリキュラムの見直し及び決定を行う

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
宮越 大司	有限会社ヘアーゲスト	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	①
進藤 大	株式会社sline(美容室サンベンス)代表取締役	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
廣石 裕	ミス・パリ・ビューティ専門学校大宮校 教育課 課長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	—
勝野 美佐	ミス・パリ・ビューティ専門学校大宮校 教育課 主任	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	—
荒木 弘子	ミス・パリ・ビューティ専門学校大宮校 教育課 主任	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)
 年2回 (6月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年6月22日 10:00～12:00
 第2回 令和2年11月2日 13:30～16:30
 0

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
 昨年に引き続き、ビューティコンテスト開催に向けての学生技術指導を行い、2学年は人(モデル)、1年生はウィッグで作品を披露することが出来た。コロナ禍の為、インターンシップを見送ることとなり、次年度に向けて計画・準備を進めていく。資格試験合格率100%を目標に授業時間外の補講も増やしていく。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

- ①実践的な技術、理論を修得し、即戦力人材を育成する
- ②技術理論の修得に加え、「マナー」、「コミュニケーション力」を学ぶ事により、接客業に不可欠な社会的基礎力を習得する

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

- ①企業の社員が先輩として、現場で経験した失敗例、成功例、失敗から学んだ事、アドバイス等を含める
- ②現場で通用する技術・知識の実習プログラムとレベル試験を、新入社員研修と同様に行う
- ③現場顧客の要求等の最新情報を伝える
- ④企業教育担当者が最終評価表に基づき、各種技術・接客マナーについて学生の評価を行う

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
IMS研修	現役の美容師たちとディスカッションをする中で、改めて美容師の素晴らしさに気づき、発信することで、自分の選んだ美容師という職業へ誇りもつようにする。美容師になろうと自分で選択した理由、将来のなりたい姿を考え、強い想いを持てるようにする。	社団法人 一生美容に恋する会 代表理事 河島 健氏
美容実習 ヘアカラーリング	基礎理論を学び、業界メーカーのインストラクターを招き、カラー総合理論や実技を学び、実際のサロンで求められている技術の習得とホイルワーク技術を学ぶ。現在サロンでおきる問題なども踏まえ、今後の戦力知識を習得する。	株式会社アリミノ 平井 直美氏
美容実習 サロン基礎技術	実践教育の一環として、美容用具の基礎技術やアシスタント業に必要な最先端技術を学び、就職後多くのサロンで試験化されている技術にいち早く対応が出来ることにより、即戦力となる指導に取り組む。	株式会社sline進藤 大氏
サービスマナー・ ビジネス実務	授業で行われる「サービスマナー」をベースにサロンで行われる接客を学び、誘導やお声掛けなどの基礎マナーを取り入れ実践させる。	有限会社 ヘアーゲスト宮腰 大司氏
美容実習 ヘアスタイル創作基礎	美容師として必要なカット、パーマ、ヘアカラーリング、ブロー等の技術を組み合わせ、一つのヘアスタイルを創作する事を体験し、実践的な美容師としての仕事の理解と感性を高める。	株式会社Euphoria森 康紀氏

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

ミス・パリ・ビューティ専門学校大宮校教育課程編成委員会規程に基づき、研修は、教職員に対して、現在就いている職または将来就く事が予想される職に係る職務の遂行に必要な知識、技能等を習得させることにより、その業務の遂行に必要な教職員の能力、資質等の向上を図ることを目的とする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: カラー基礎知識/フォイルワークの基礎 連携企業等: 株式会社WELLA
 期間: 2022/2/16・2022/2/25・2022/2/28 対象: 美容教員向け
 内容: デザインに不可欠なフォイルワークを学ぶ

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名: ワインディングコンテスターを育てるためには… 連携企業等: 株式会社ディッシー
 期間: 2022/5/27・2022/6/25 対象: 美容教員向け
 内容: ワインディング授業の進め方について 学生を引き付けるには…

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: カット・ブローの基礎知識 連携企業等: 株式会社ユーフォリア
 期間: 2022/7～ 対象: 美容教員向け
 内容: カットベーシック、デンマン・ロールブラシの効果について

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 化粧品について 連携企業等: 理美容教育センター
 期間: 2022/6/6～2022/6/17 対象: 美容教員向け
 内容: 授業の進め方について 授業内でのパワーポイントの有効活用について

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、関連企業などを含む学校関係者評価委員会を組織し、其々の知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を行っている。評価内容はISO管理と連携して、教育活動及び学校運営等の組織の継続的な向上に活用されている

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校のビジョン及びそれを実現するための方針作成並びに理解
(2) 学校運営	事業計画等に沿った運営方針の策定
(3) 教育活動	教育内容は、教育理念・教育目標との一貫性
(4) 学修成果	学生の就職に関する目標設定、その成果
(5) 学生支援	学生の心身面での管理体制
(6) 教育環境	教育目標達成に必要な施設、設備、教材の整備
(7) 学生の受入れ募集	学生募集の計画性、その成果
(8) 財務	適正な予算執行
(9) 法令等の遵守	法令や専修学校設置基準の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	学校の教育資源・施設を活用した社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	留学生規程の整備

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

新型コロナウイルス感染症の影響下でも学生満足度を下げることなく、入学者数の増加や全希望者の就職内定を獲得したことは、評価委員からも高い評価をいただいた。他方で、コロナ禍により世間の生活環境は大きく変動し、日本経済及び美容業界も重要な転換期を迎えているため、先を見据えた新たな学校運営の形を模索して欲しいとの意見を頂いた。評価内容を反映させた年度目標を設定し、事業計画に取り入れることにより、断続的な改善に取り組んでいる。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
進藤 大	株式会社sline(美容室サンペンス) 代表取締役	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
宮腰 大司	有限会社ヘアーゲスト	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	業界団体等委員
平山 浩篤	株式会社シェイプアップハウス 取締役	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
杉原 昭二	学校法人ミスパリ学園 理事・評議員	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	学校評議員
須賀谷 映子	NPO法人 日本スパ・ウエルネス協会 教育委員長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	業界団体等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・) 広報誌等の刊行物・その他()

URL: <https://www.miss-paris.ac.jp/omiya/info/>

公表時期: 2022/8/20

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

当該学科は、即戦力人材を育成、輩出することを基本方針としていることから、卒業生の就職状況、資格取得状況等を企業に定期的に報告し、教育連携の成果を確認する

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の沿革。教育理念
(2) 各学科等の教育	目指せる資格。卒業後の進路
(3) 教職員	講師紹介
(4) キャリア教育・実践的職業教育	最先端の技術を学ぶ。洗練された美のプロフェッショナルを育成
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事。最先端の設備
(6) 学生の生活支援	学生寮
(7) 学生納付金・修学支援	奨学金制度の充実
(8) 学校の財務	決算概要報告
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果報告
(10) 国際連携の状況	留学生規定の整備
(11) その他	ボランティア活動、地域貢献

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・) 広報誌等の刊行物・その他()

URL: <https://www.miss-paris.ac.jp/omiya/>

公表時期: 2022/8/20

授業科目等の概要

(専門課程(衛生)美容学科)															
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択	授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
								講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○		専門理論	関係法規・制度	1通2通	30	1	○			○			○	
2	○			衛生管理	1通2通	90	3	○			○			○	
3	○			保健	1通2通	90	3	○			○		○	○	
4	○			美容技術理論	1通2通	150	5	○			○		○	○	
5	○			香粧品化学	1通2通	60	2	○			○			○	
6	○			文化論	1通2通	60	2	○			○		○		
7	○			運営管理	1通2通	30	1	○			○		○	○	
8	○		専門実技	美容実習	1通2通	900	30	△		○	○		○	○	○
9		○	専門科目	総合美容(ヘッドスパ、デザインカット、ファッション・ブライダルメイク、ジェルネイル等)	1通2通	180	6	△		○	○		○	○	○
10		○		美容基礎技術及び理論	2通	270	9	△		○	○		○	○	
11		○	一般教養	美容美術1(デザイン、デッサン、色彩)	1通	60	2	○		△	○			○	
12		○		美容教養1(マナー・英会話・コミュニケーション)	1通	60	2	○		△	○		○	○	
13		○		美容美術2(応用デッサン、上級色彩)	2通	30	1	○		△	○			○	
14		○		美容教養2(ビジネスコミュニケーション)	2通			○		△	○		○	○	
合計						14	科目	2010			単位(単位時間)				

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件: 修学年限在学し所定の授業時間数を修了した者が、学校の定める全授業科目について修了認定を受けることによって卒業することができる	1学年の学期区分	2期
履修方法: 全科目履修	1学期の授業期間	22週

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。